



READ Me



ネットワークから最新のソフトウェアをダウンロードできることは、インターネットの大きな魅力の1つです。このコーナー「READ Me」では、ネットワークから入手できる最新のソフトウェアに焦点をあてて、必ず役に立つ情報満載でお届けします。まずは今月の注目ソフトから。

インターネットが
ますます楽しくなる
ソフトウェア
3選

HOTTEST TOOLS

今月の注目ソフト

1

[チョコア]

CHOCOA

Ver.0.2f16



配布元：株式会社富士通研究所
CD-ROM収録先：Win Chocoa
入手先：<http://www.fujitsu.co.jp/hypertext/free/chocoa/>

同じ場所にいなくても、インターネットに繋がってればさまざまな人と会話ができるテキストチャットが人気だ。このCHOCOAは、IRC (Internet Relay Chat) クライアントの基本的な機能をすべて備えており、しかも、初めてIRCを体験する人から常連さんまでが納得する、便利な機能が満載なのだ。

ほかの作業をしているときに 便利な「キーワード設定」

「～しながら」をめざしたというだけあり、CHOCOAには別の作業をしているときに便利な機能がいくつかある。中でも「キーワード設定」はピカイチの機能だ。

図1の①に自分の興味のあるキーワードや自分のニックネームを入力しておく。すると、会話中に前もって入力しておいた特定のキーワードが出現すると、ピープ音が鳴ったり、ほかのソフトウェアの後ろにCHOCOAが隠れてしまっている場合には前面に出たりする。さらに、図2の②が赤くなり、このボタンを押すとダイアログが表示され、キーワードが出現した文脈を確認できるのだ。これで、別の作業をしているときに自分に会話がふられてもすぐに会話に入ることができるというわけだ。



②シンプルで分かりやすいインターフェイス。数々の機能はメニューからも選べるが、ほとんどの機能にショートカットキーが割り当てられている。慣れればこちらのほうが便利だ

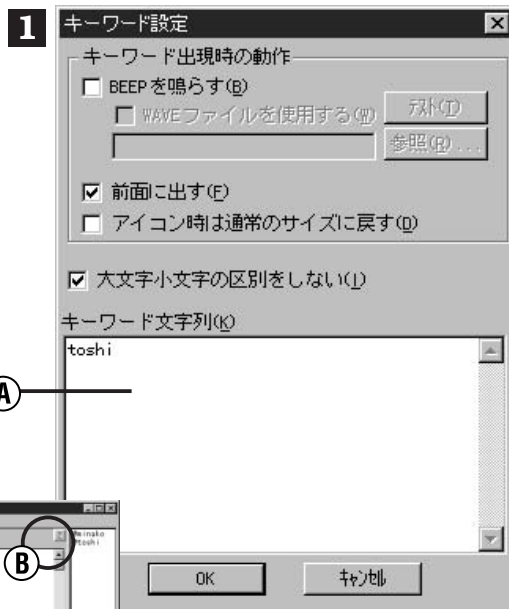
動作環境

OS：ウィンドウズ95、NT

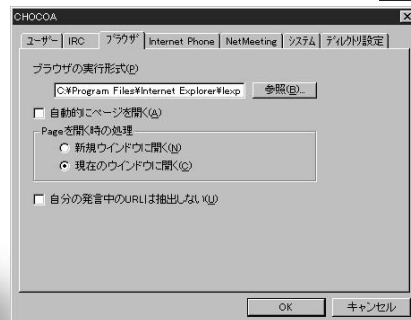
ホームページを自動的に表示

会話中にホームページの話題が出ることはよくあるはず。そんなときに便利な機能も用意されている。

CHOCOAでは、会話中にホームページのURLが表示されると、自動的にWWWブラウザが起動して該当するページにアクセスしてくれる(図3)。会話に参加している全員がCHOCOAを使っていれば、みんなで同じホームページを見られるわけだ。さらに図2・③を押すと、自分がWWWブラウザで表示しているホームページのURLを入力フィールドに表示してくれる。いちいちURLを入力したり、コピー＆ペーストしたりする手間が省ける便利な機能だ。



①キーワードはいくつでも指定できる



②ホームページを自動的に表示する設定は、「設定」メニュー「一般」「ブラウザ」で行う

NetMeetingや Internet Phoneとも連携

テキスト形式のチャットだと、どうしても伝え難いものがある。そんなときのために、NetMeetingやInternet Phoneといったビデオや音声で会話できるソフトを使って、特定の人を呼び出す機能もある。この機能はメニューからは選べないので、NetMeetingの場合は「CTRL+ALT+N」、Internet Phoneの場合は「CTRL+ALT+V」を押す。ただし、この機能を使うには相手もCHOCOAを使っている必要がある。

HOTTEST TOOLS

今月の注目ソフト

2



配布元：VDOnet Japan株式会社
CD-ROM収録先：【Win】 A Win Vdolive
【Mac】 Mac VDOLive

[VDOLiveプレイヤー]

VDO Live Player Ver.3.0

リアルタイムビデオ再生ソフト、VDO Liveプレイヤーの最新バージョン3.0の正式版が登場した。音声、動画のクオリティーは、バージョン2.0とは比べ物にならないくらいパワーアップ。インターフェイスも新し、より使いやすくなっている。すでに3.0用のコンテンツも用意されているので、最新のVDO Liveプレイヤーの世界を体験してみよう。

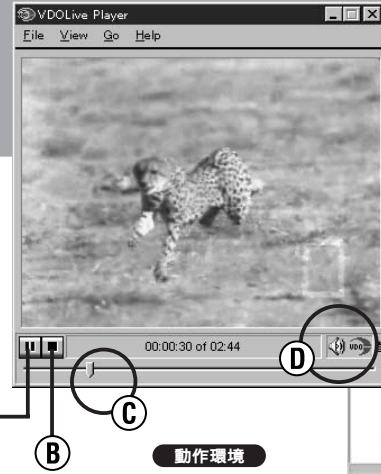
テレビのように なめらかな動画再生

音声の圧縮技術にNTTヒューマンインターフェイス研究所が開発したTwinVQを採用。これによりサウンドのクオリティーは大幅にアップした。28.8KのモデムでもFMステレオ放送並みの音質で聴け、十分にコンテンツを楽しむことができる。また、動画も独自の圧縮技術により1秒30フレームというテレビのようにスムーズな再生が可能となった。米国のサイトにあるバージョン3.0用のデモ(<http://www.vdo.net/misc/demo.html>)を見てみよう。そのクオリティーの高さに驚くはずだ(図1)。

さらに、インテルのMMXとマイクロソフトのDirectDrawの技術に対応。これにより、大迫力のフルスクリーン再生も可能となった。

使いやすくなった インターフェイス

音声、動画のクオリティーの向上だけでなく、使いやすさの面でも一層洗練された(図2)。まず、「再生/一時停止」ボタン(A)、「停止」ボタン(B)、さらに、「巻戻し」と「早送り」ができるスライドバー(C)が追加された。もう一度今のシーンが見たいなんていうときにも便利だ。音量の調整は(D)をクリックすれば音量調節バーが表示される。



2

●サンプルの一場面。太陽の揺らぎが分かるほど鮮明だ



1

動作環境

ウィンドウス
OS：ウィンドウス95、NT
CPU：Pentium 90MHz以上
メモリー：8Mバイト(推奨16Mバイト以上)
モデム：14.4Kbps以上
マッキントッシュ
OS：MacOS System 7.1.2以上
CPU：PowerPC
メモリー：8Mバイト以上
モデム：14.4Kbps以上

回線速度に合った動画を配信

最大の特徴ともいえるのが、コンテンツを見る側の回線速度に合わせた動画を配信するネットワークビデオシステムだ。動画のフレームサイズ、フレーム数、音声帯域をサーバーが自動的に調整して配信するので、1つのファイルで14.4Kbpsから512Kbpsまで、それぞれの速度に合った最適なビデオを楽しむことができるのだ。

HOTTEST TOOLS

今月の注目ソフト

3

発売元：リアル・ネットワークス社
価格：29.99ドル
入手先：<http://www.jp.real.com/>

[リアルプレイヤー・プラス]

RealPlayer Plus Ver.5.0

ついにリアルプレイヤー5.0の正式版が登場した。2からの大きな変更点はないので、今回は同時に発表されたリアルプレイヤー・プラス5.0を紹介しよう。製品版ということもあり、リアルプレイヤーにはない便利な機能が追加されていて、しかも、プラスでしかアクセスできない特別なコンテンツも用意されているのだ。

動作環境

ウィンドウス
OS：ウィンドウス3.1、95、NT
CPU：Pentium
メモリー：16Mバイト
マッキントッシュ
CPU：PowerPC
メモリー：16Mバイト



A

C

B

Plusだけの便利な機能

テープレコーダーのように番組を録音できる(A)のボタン、現在放送中のライブ番組を探して次々と再生してくれる「Scan」ボタン(B)、そして、好きな番組を40番組まで登録できる「Presets」ボタン(C)など、RealPlayerにはない便利な機能が多数追加されている。

プレミアムコンテンツも登場

RealPlayer Plusでしか聴けないプレミアムコンテンツも登場した。執筆時現在はワーナー・ブラザーズのコンテンツがあり、ディープ・パープルやエルビス・コステロ、マイルス・デイビスなどのアルバム30枚がまるごと全部聴けるようになっている。今後どのようなコンテンツが登場するのか楽しみだ。



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp